

3Dジョイスティック取扱説明書

JY-DV18



このたびは、3Dジョイスティック(3D Air Force)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

サンワサプライ株式会社

この3Dジョイスティック(3D Air Force)は、従来のX/Y軸に加えて第3の軸Z軸を装備した、3D機能搭載のジョイスティックです。

3Dジョイスティック (3D Air Force) の各機能について



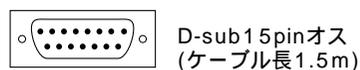
特長

第3の軸(回転軸：Z軸ラダー)がグリップで操作できます。
グリップをひねることでZ軸(ラダー)の移動が可能です。
4ボタン、ハットスイッチ、スロットルコントロール、ラダーコントロール等は、これらの機能に対応しているソフトのみでお楽しみいただけます。
Windows® NTでは、マルチビューコントロールは使用できません。

接続

1. パソコンの電源を切ります。
2. 3Dジョイスティックのコネクターをパソコンのゲームポート(D-sub 15pinメス)に接続します。
3. パソコンの電源を入れます。

コネクタ形状



Windows® 95での設定

Windows® 95では、ジョイスティックの設定をコントロールパネル上で行うことができます。
ゲームを始める前には、必ずジョイスティックのXY座標軸をトリムコントロールで中央に調整してください。

1. 「スタートメニュー」の「設定」の中からコントロールパネルを選んでください。
2. 「ジョイスティック」のアイコンをダブルクリック、「追加」をクリックして「CH Flightstick PRO」を選んでください。接続のところにOKが出ているか確認してください。
OKが出ない場合はトラブルシューティングをお読みください。
3. 次に、「プロパティ」を選びラダー(Z軸)を使用する場合には、ラダー/ペダルをチェックしてください。次に「調整」をクリックして、指示に従ってXY座標軸、スロットルコントロール、ハットスイッチを設定してください。設定後「テスト」を選び正常に動作するかテストしてください。
ゲームソフト側でも各ボタンの設定がありますので設定を行ってお楽しみください。

機能の説明

スロットルコントロール

フライトシュミレーターのソフトなどで、キーボード操作なしでスピード(スロットル)コントロールができる機能です。

マルチビューコントロール(ハットスイッチ)

ハットスイッチを押したり、回したりすることでフライトシュミレーションなどの前方、後方、右、左を見ることができる機能に対応しています。

3D AXIS

フライトシュミレーターのソフトなどで、ラダーを操作できる機能です。

ターボコントロール(ターボファイヤーファンクション)

ファイヤーボタンを押すと連射できるようになります。

オートコントロール(オートファイヤーファンクション)

ファイヤーボタンが押されたままの状態に固定することができます。

トラブルシューティング

ジョイスティックが動作しない場合

ジョイスティックが正しくゲームポートに接続されているかご確認下さい。

ゲームポートのI/Oポートアドレスを確認してください。

「コントロールパネル」から「システム」を開きます。

「システムのプロパティ」で「デバイスマネージャー」を選択します。

「ゲームコントローラ又はジョイスティック」をダブルクリックすると「ゲームポートジョイスティック」が表示されます。

これをダブルクリックして「ゲームポートジョイスティックのプロパティ」で「リリース」を選択します。

I/Oポートが98の場合は04D2、DOS/Vの場合は0201になっているか確認してください。

違っている場合は本体及びボードのマニュアルを参考にして設定を行ってください。

設定ができましたらコントロールパネルをクリックして、もう一度ジョイスティックの設定を行ってください。

このジョイスティックは弊社ゲーム用ボードJY-IF98、JY-PCM3、サウンドブラスターで動作いたします。ご使用のボードがサウンドブラスター又はサウンドブラスター100%互換品かどうかご確認ください。

マルチビューコントロール(ハットスイッチ)、スロットルコントロール、ラダーコントロールが動作しない場合

ご使用のゲームがマルチビューコントロール、スロットルコントロール、ラダーコントロールをサポートしているかご確認ください。